

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月2日
上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社
 コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 晃二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総務企画本部長 (氏名) 村越 久人 TEL 03-5687-6025
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,261	9.7	276	△26.2	304	△24.7	286	△5.2
2022年3月期第1四半期	10,264	36.2	374	—	405	—	301	△86.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 298百万円 (1.4%) 2022年3月期第1四半期 294百万円 (△86.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	19.52	—
2022年3月期第1四半期	20.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	42,662	15,557	36.5	1,061.57
2022年3月期	39,335	15,259	38.8	1,041.20

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 15,557百万円 2022年3月期 15,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※当社は定款において9月30日（第2四半期末日）及び3月31日（期末日）を配当基準日と定めておりますが、第2四半期末の配当につきましては見送らせていただくとともに、期末配当につきましては引き続き未定とさせていただきます。

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	23,000	13.9	400	84.8	300	30.3	300	66.2	20.47
通期	48,000	15.1	600	13.1	500	△14.3	400	△4.2	27.29

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2023年3月期1Q	14,687,617株	2022年3月期	14,687,617株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期1Q	32,415株	2022年3月期	32,384株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	14,655,218株	2022年3月期1Q	14,655,569株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8
3. 第1四半期決算概要	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せましたが、ウクライナ情勢の長期化や円安による原燃料等の市況上昇、部品の調達難による生産活動の停滞など、経済活動への影響が懸念される事態が生じており、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

こうした経済環境の中、当社グループにおいては、原燃料等の市況上昇に合わせ販売価格の改善に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高112億6千1百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益2億7千6百万円（前年同期比26.2%減）、経常利益3億4百万円（前年同期比24.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億8千6百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

[特殊鋼]

特殊合金、軸受鋼等の売上数量が減少したものの、販売価格の改善等により売上高は82億8千8百万円（前年同期比10.8%増）となりました。損益面では原燃料等の市況上昇等の影響があるものの、販売価格や売上構成の改善等に取り組んだ結果、営業利益は3億2千4百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

[鑄鉄]

トラック等の商用車向け、産業機械向けの売上数量が減少したものの、販売価格の改善等により売上高は26億5千5百万円（前年同期比10.3%増）となりました。損益面では販売価格の改善等に取り組んだものの、原燃料等の市況上昇等の影響が大きく、6百万円の営業損失（前年同期は7千3百万円の営業利益）となりました。

[金型・工具]

自動車向け金型の売上高が減少し、売上高は3億1千8百万円（前年同期比15.6%減）となりました。損益面でも売上高の減少の影響により、4千2百万円の営業損失（前年同期は1百万円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、原燃料市況の上昇による棚卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ33億2千7百万円増加し、426億6千2百万円となりました。

負債合計は、原燃料市況の上昇による仕入債務の増加や、借入金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ30億2千9百万円増加し、271億5百万円となりました。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどから、前連結会計年度末に比べ2億9千8百万円増加し、155億5千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の第2四半期連結会計期間及び通期連結業績予想につきましては、2022年4月28日に公表しました予想から修正を行っております。詳細につきましては、本日公表の「第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正について」をご参照ください。

また、当社は業績水準や配当性向とともに、持続的成長のための投資資金としての内部留保も考慮し、安定的・継続的に剰余金の配当を行なうことを基本方針としております。当社グループを取り巻く経営環境は、先行きの不透明な状況が継続しているため、第2四半期末の配当につきましては見送らせていただくとともに、期末配当につきましては引き続き未定とさせていただきます。詳細につきましては、本日公表の「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	155	488
受取手形及び売掛金	8,687	9,085
製品	2,966	3,454
仕掛品	5,994	6,490
原材料及び貯蔵品	6,369	7,070
その他	157	1,234
貸倒引当金	△12	△13
流動資産合計	24,317	27,810
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	4,785	4,615
土地	5,335	5,335
その他(純額)	2,705	2,661
有形固定資産合計	12,827	12,612
無形固定資産	175	161
投資その他の資産		
投資有価証券	847	848
その他	1,222	1,284
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	2,014	2,077
固定資産合計	15,017	14,852
資産合計	39,335	42,662

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,003	4,052
電子記録債務	4,538	4,905
短期借入金	7,669	10,157
未払法人税等	82	118
賞与引当金	413	182
営業外支払手形	115	138
その他	1,906	2,321
流動負債合計	18,730	21,876
固定負債		
長期借入金	350	210
再評価に係る繰延税金負債	971	971
退職給付に係る負債	3,768	3,797
その他の引当金	107	112
その他	148	136
固定負債合計	5,346	5,229
負債合計	24,076	27,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,721	12,721
利益剰余金	503	789
自己株式	△39	△39
株主資本合計	13,185	13,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148	148
土地再評価差額金	2,202	2,202
退職給付に係る調整累計額	△277	△265
その他の包括利益累計額合計	2,073	2,085
純資産合計	15,259	15,557
負債純資産合計	39,335	42,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	10,264	11,261
売上原価	8,993	10,054
売上総利益	1,270	1,206
販売費及び一般管理費	896	930
営業利益	374	276
営業外収益		
受取配当金	36	56
受取賃貸料	3	4
その他	12	2
営業外収益合計	51	63
営業外費用		
支払利息	13	24
売上債権売却損	4	3
その他	3	6
営業外費用合計	21	34
経常利益	405	304
特別損失		
固定資産処分損	4	2
特別損失合計	4	2
税金等調整前四半期純利益	400	302
法人税、住民税及び事業税	36	77
法人税等調整額	62	△61
法人税等合計	99	16
四半期純利益	301	286
親会社株主に帰属する四半期純利益	301	286

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	301	286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	0
退職給付に係る調整額	2	11
その他の包括利益合計	△7	12
四半期包括利益	294	298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	294	298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(高周波精密株式会社の事業再構築について)

2022年4月28日取締役会で決議した当社の100%子会社の高周波精密株式会社(以下、高周波精密)の事業再構築について、希望退職者の募集とグループ内の他の子会社との統合・移転に向け準備を進めておりますが、希望退職の詳細条件の検討に時間を要したため、希望退職の募集期間を変更いたしました。

1. 事業再構築の背景・理由

高周波精密は、主に自動車部品用の金型などの設計・製造・販売を行っています。

今後の自動車はエンジン車から電気自動車(EV)へのシフトが急速に進み、当社が得意とする駆動系関連部品向け金型の事業環境は大きく変化することが想定されます。

このような環境の変化に対応するため、需要に合わせた事業規模の縮小と人員体制の適正化を図ることとし、同社の従業員を対象とした希望退職者を募集することといたしました。同時に、グループ内のリソースを最大限に活用し、早期に安定した収益構造を構築するため、鋼材の加工・販売を行っている子会社(株式会社カムス(以下、カムス))との統合・移転の検討に着手することといたしました。

2. 事業再構築の内容

①希望退職者募集の概要

- (1) 募集対象者 高周波精密の45歳以上の従業員
- (2) 募集人員 60名程度(社員数2022年3月末現在108名)
- (3) 募集期間 2022年9月16日～2022年9月30日(予定)
- (4) 退職日 2023年3月末
- (5) 優遇措置 退職者に対して割増退職金を支給することに加え、希望者に対しては再就職支援会社を通じた再就職支援を行います。

②統合・移転

高周波精密(千葉県市川市)の金型・工具事業を、当社の100%子会社で特殊鋼販売、熱処理等を営むカムス(群馬県太田市)と組織・拠点を統合し、鋼材加工の一貫体制を構築することとし、具体化を進めてまいります。

- (1) 会社統合の方法：会社分割を予定
 - 分割会社：高周波精密
 - 承継会社：カムス
- (2) 会社統合の時期：2023年4月1日(予定)
- (3) 移転時期：2023年10月1日(予定)
 - 高周波精密の市川事業所を、カムスの北関東事業所に移転集約する予定です。

3. 今後の見通し

希望退職の募集に伴い発生する割増退職金等や、統合・移転に伴う移転費用等につきましては、発生年度に特別損失として計上する予定ですが、具体的な影響額については未確定であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	7,478	2,408	376	10,264	—	10,264
外部顧客への売上高	7,478	2,408	376	10,264	—	10,264
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25	—	1	27	△27	—
計	7,504	2,408	377	10,291	△27	10,264
セグメント利益	299	73	1	374	—	374

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	8,288	2,655	318	11,261	—	11,261
外部顧客への売上高	8,288	2,655	318	11,261	—	11,261
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17	—	0	17	△17	—
計	8,305	2,655	318	11,279	△17	11,261
セグメント利益又は損失(△)	324	△6	△42	276	—	276

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

3. 第1四半期決算概要

2022年8月2日
日本高周波鋼業株式会社

2023年3月期 第1四半期決算概要

連 結

1. 当四半期の業績（累計）と通期予想

(単位：百万円)

摘要	当期 23年3月期 第1四半期	(対前年同期)		前年同期 22年3月期 第1四半期	通期予想 23年3月期
		増減額	増減率		
売上高	11,261	997	9.7%	10,264	48,000
営業利益	276	△98	△26.2%	374	600
経常利益	304	△100	△24.7%	405	500
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	286	△15	△5.2%	301	400
設備投資	81	△20	△20.1%	102	1,100
減価償却費	308	△11	△3.6%	320	1,250

2. セグメント別売上高・営業利益（累計）

【製品・サービス別】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		増 減	
	23年3月期第1四半期		22年3月期第1四半期		売上高	営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		
特殊鋼	8,288	324	7,478	299	809	24
鋳鉄	2,655	△6	2,408	73	247	△79
金型・工具	318	△42	376	1	△58	△43
計	11,261	276	10,264	374	997	△98

【海外売上高】

(単位：百万円)

摘要	当 期		前年同期		(対前年同期)	
	23年3月期第1四半期		22年3月期第1四半期		増減額	増減率
	売上高	連結売上高比	売上高	連結売上高比		
アジア	1,531	13.6%	1,549	15.1%	△17	△1.1%
その他の地域	42	0.4%	31	0.3%	10	34.1%
計	1,574	14.0%	1,580	15.4%	△6	△0.4%
連結売上高	11,261		10,264		997	9.7%

3. 経常利益増減益要因（前年同期比）

(単位：億円)

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 販売価格改善	15	1. 原燃料等市況上昇	17
2. 売上数量・構成	1		
計 (A)	16	計 (B)	17
		差引 (A)-(B)	△1